

講義名	国際関係論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	村上 友章		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42071

主題と概要

この授業では、三つのパートにそって講義を進めていく。第一部「国際関係の理論」では、国際関係学に関わる代表的な三つの理論群について紹介・説明する。第二部「国際関係の歴史」では、近代以降の国際関係の歴史を概観しながら、それらの理論が、歴史的な現実をたいしてどのようにアプローチし、またどのような理論的發展を遂げてきたのかを解説していく。最後に第三部では、今日の国際社会が直面している政治的・経済的諸問題について考察する。

到達目標

- ・ 国際関係学の代表的な理論を学ぶことで、国際関係を動かすメカニズムや要因についてのさまざまな見方を理解すること。
- ・ 国際関係の歴史についての基本的な知識を習得すること。
- ・ 現代の国際社会が直面するさまざまな問題について正確な知識をもって理解し、その解決策について自分なりの見解を説明することができるようになること。

提出課題

- ・ 基本的に毎回、予習として教科書の該当箇所を読み、「読書シート」を作成して提出する。
- ・ 基本的に毎回、予習として教科書の該当箇所のテーマに沿った新聞記事を準備し、要約・感想を持参する。

評価の基準

評価は、小テスト（50％）と期末試験（50％）を合算して行なう。
教科書および講義で説明された内容が正確に理解できているかどうか、そのうえで自分なりの立場や見解が論理的に説明できているかどうか、評価の基準となる。

履修にあたっての注意・助言他

授業内でグループディスカッションを行うので、予習は必ず行って参加することになる。
まじめに参加すれば、コミュニケーション能力、書籍・新聞読解力は必ず身につく授業である。

教科書

.戦争の条件.	藤原帰一	集英社	864	978-
.地図で読む「国際関係」入門.	眞淳平	筑摩書房	929	978-

プリント資料及び参考文献

授業中に紹介・配布

授業計画

- 国際関係の理論
 第1回：イントロダクション 領土問題から見えてくる国際関係
 第2回：リアリズムと「力の均衡」論
 第3回：相互依存と多元主義
 第4回：帝国主義と世界システム論
 国際関係の歴史
 第5回：主権国家と国家間システムの成立
 第6回：バクス・ブリタニカの時代 自由貿易の帝国主義
 第7回：列強帝国主義による世界の分割
 第8回：二つの世界大戦から冷戦へ
 第9回：核抑止論と「長い平和」
 第10回：第三世界の諸問題 低開発と「熱い戦争」
 第11回：アメリカの衰退とそれをめぐる論争
 第12回：グローバリゼーションと冷戦の終焉
 現代国際政治の諸問題
 第13回：地域の統合と「主権」概念の変容
 第14回：現代の戦争 資源紛争と対テロ戦争
 第15回：グローバリゼーションのなかでの貧困問題
 定期試験

予習・復習

- ・ 提出課題である「読書シート」の作成に2時間、復習に1時間を当てることとする。

備考

- ・ 履修生のリクエスト等に応じて、授業計画は柔軟に変更することもありうる。